

～ 天神マルシェを核とした商店街再生事業 ～

長年継続している「天神市」を軸に、マルシェや屋台等新しい形態の出店で、商店街活動のアピールと新規開業者誘致のきっかけづくりを狙った。また、商店街の歴史や街づくりへの取り組み、魅力発掘学習会の成果を盛り込んだフリーペーパーを作成し、利用度向上を目指した。

所在地：島根県松江市天神町58
 TEL：0852-24-4031 FAX：0852-24-4037
 URL：<http://www.h6.dion.ne.jp/~tenjin/>
 組合員数：36名
 商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

松江天神町商店街は、JR山陰線松江駅にほど近く、古くから白湯天満宮の門前町として栄えてきた。呉服、仏具、茶、和菓子等老舗を中心とする歴史ある商店街。「お年寄りに優しいまちづくり」をかけた、おかげ天神を建立し、毎月天神市を開催してきたが、近年マンネリ化と来街者の減少が課題となっていた。そこで、新たな高齢者層である団塊の世代とその子ども世代までを商店街の固定客としていくため、新たにマルシェや屋台などを実施するとともに学習会を実施、商店街を知って頂くための情報誌を作成した。



実施した事業の概要

①天神市でのマルシェ、冬場の屋台の実施

天神市は15年にわたり継続して「天神さんの縁日」として地域に定着している。当商店街の主要な客層は高齢者であるが、団塊の世代が高齢者の仲間入りをしつつあり、高齢者のイメージそのものが変化、商店街の取り組みもこうした変化に対応する必要が高まっている。また、一日を通じて来街し長時間滞在してもらおうことを狙って、従来の朝市型のイベントから新業態のマルシェを加えた。マルシェへの出店者の募集に当たっては、商店街に立地していない業種で、商店街への出店の可能性がある業者を選定した。これにより、若年層から高齢者まで幅広い世代に長い時間滞在してもらえた。

また、冬場1ヶ月という期間限定で商店街内ロータリーに屋台小屋を仮設。カニ、牡蠣など山陰の冬の味覚を中心に、肉などの豪快な焼き物の料理を提供した。期間中は荒天の日が多かったが、屋台はプレハブのため暖かいと好評で、ポスター等によるPRの結果、地元の会社帰りの人だけでなく観光客も多数訪れ盛況であった。

②魅力発掘学習会の実施

店主に参加してもらい個店の魅力開発やイメージ戦略を話し合った。店舗外観を撮影し映像編集し、個々の店の「看板を切り出したような」配布用チラシやフリーペーパーに活用することで商店街イメージの醸成に役立てた。

③情報誌「てんじん」発行

商店街の歴史や、店舗等のマップ、実施したイベント等を写真入りで掲載したフリーペーパーを発行。組合員が中心となって記事を執筆し、商店街を利用しない人の興味をも喚起する内容としたところ、高い評価を得て、第39回島根広告賞パンフレット部門で銀賞を受賞。積極的な取り組みが内外から認められる結果となった。



成果と成功の要因

今回の事業により歩行者通行量は大幅に増加、来街者も若年層が増えてきており空き店舗も減少した。これらの成功の要因は、商店街若手による「天神町商店街宣伝部」が中心となり、今まで積み重ねてきた情報発信やイベント企画のノウハウを生かし、企画・運営を行ったことによる。若者のネットワークで来街者層などに変化が見られているほか、現在の天神市のターゲットが従来の高齢者のイメージとは異なっていると考え、マルシェ、屋台等多様な業態を取り入れたことが、団塊の世代を中心とするアクティブシニア層だけでなく、その子ども世代の取り込みにもつながったものと考えている。

今後の取り組み

天神市は15年の歴史があり、県内はもとより日本全国からも視察や観光客が訪れている。また、地域コミュニティの拠点として認知されており、街の活性化に貢献している。今後も松江市商工会議所、松江市ほか近隣の諸団体の協力を得て天神市を軸にマルシェ、屋台等を実施し、個店の変革や商店街の活性化につなげていく。資金については、マルシェ、屋台は出店者からの出店料で賄い、情報誌は商店街会員からの広告や記事・写真などを使用することで予算内での発行を検討、Webも活用することで低予算での情報発信を目指している。